

## 薬学研究者養成セミナー

日時：2018年10月25日（木）17：00～18：20

場所：京都薬科大学愛学館3階愛学ホール（A31講義室）

主催：文部科学省多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

参加者数：95名

本学：94名（学部生：67名、大学院生：9名、教職員：18名）

本学以外：1名（京都府立医科大学 助教）

概略：本セミナーは文部科学省多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランの主催で、京都府立医科大学大学院呼吸器内科学 高山浩一教授に進行期肺がんの薬物療法とトランスレーショナルリサーチについてご講演をいただいた。

### 内容：

まず本学後藤直正学長から、本セミナーが参加されている方々にとって有益であることを願うとともに自身も一緒に勉強したいとの開会の挨拶があった。

高山先生のご講演では、はじめに肺がんの病期分類をお示しいただき、進行期（IV期）の肺がんにおける薬物治療の歴史を踏まえ、化学療法薬、分子標的治療薬の開発に伴う治療成績の進歩についてご説明いただいた。シスプラチンの登場により、1990年代には肺がん患者さんの生命予後が伸びたが、無治療の患者さんと比べ、数カ月のことで、治療現場で働くものとして実感することはなかった。しかし医学研究の進歩により、肺がんにおける driver mutation（発がんに関わる遺伝子変異）が多数明らかになり、それぞれに対する分子標的治療薬が開発され、その結果、治療成績は大幅な改善を遂げてきている。しかし、それらに対しても抵抗性を示す肺がん細胞が出現してきており、それらの臨床的背景も明らかにされてきたとのお話があり、これらの克服に向け、本学と共同研究を進めたいとのご提示をいただいた。



後藤学長



高山浩一教授

また免疫療法についても、PD-1 抗体製剤の登場により癌免疫療法の復権が、目まぐるしい治療成績の改善をもたらしており、PD-1 抗体療法に分子標的療法や抗がん剤療法を併用した複合免疫療法の時代に突入しつつあることが示された。しかし、PD-1 抗体療法にも疑問があり、①真の効果予測因子とは何か？②腫瘍側の PD-L1 発現制御のメカニズム、③腫瘍組織にリンパ球が浸潤する機序、④免疫チェックポイント阻害剤に反応するリンパ球の特性、⑤有害事象の発症メカニズム、等の解決すべき問題があり、これらに対しても共同研究を進めたいとのご提示をいただいた。

最後に、トランスレーショナルリサーチの重要性を説明され、本学との共同研究の推進を強く望むとのお話をいただき、講演は終了した。

最後は西口教授より、クリニカルクエスチョンを明確にされ、臨床現場から基礎薬学の研究の必要性を説いた発表で、我々も共同研究を模索し、臨床に還元できる研究を進める必要があるとの閉会の辞を述べられ、セミナーは終了した。



西口教授

報告者：病態生理学分野 教授

がんプロコーディネーター 芦原英司



## セミナー風景

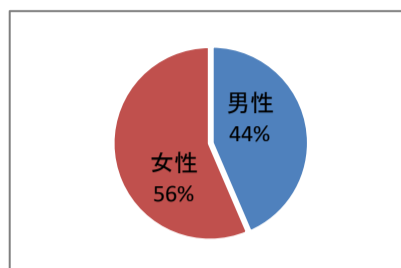
# 「薬学研究者養成セミナー」アンケート集計結果

日時: 2018年 10月 25日 (木) 17:00~18:10  
 会場: 京都薬科大学 愛学ホール (A31講義室)  
 参加人数: 95名 (本学94名 (学部生67名、大学院生9名、教職員18名))  
 (本学以外 1名 (京都府立医科大学))  
 アンケート回答: 62名 (回答率65%)

## 1. 聴講された方について

### ①性別をお知らせください。

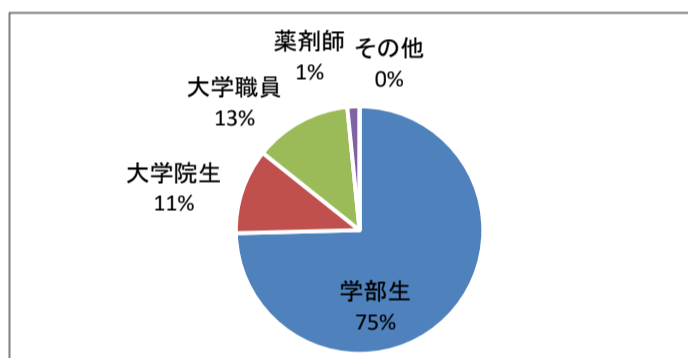
	男性	女性	計
人数	27	35	62
%	44%	56%	100%



### ②職業をお知らせください。

	学部生	大学院生	大学職員	薬剤師	その他	計
人数	47	7	8	1	0	63
%	75%	11%	13%	2%	0%	100%

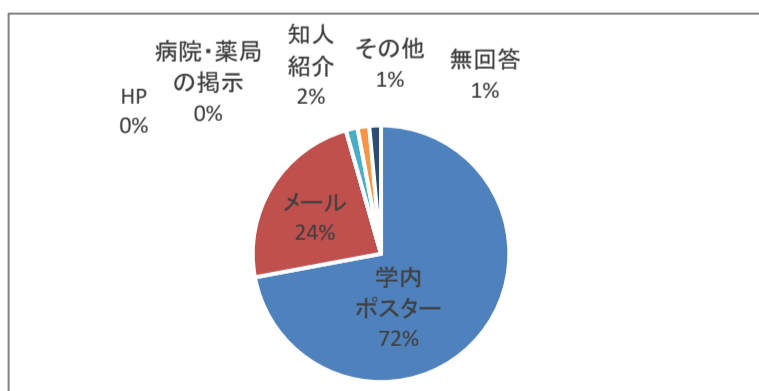
(複数回答あり)



## 2. 本セミナーの開催は、何でお知りになりましたか。

	学内ポスター	メール	HP	病院・薬局の掲示	知人紹介	その他	無回答	計
人数	49	16	0	0	1	1	1	68
%	72%	24%	0%	0%	1%	1%	1%	100%

(複数回答あり)

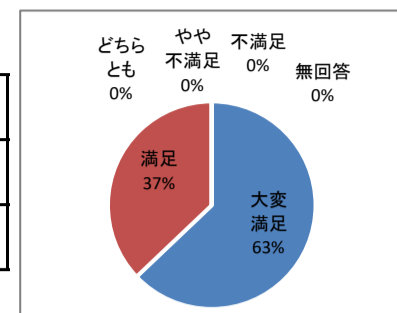


その他	人数
芦原先生からの紹介	1

### 3.プログラムについて

#### ①今回のプログラムの内容はいかがでしたか。

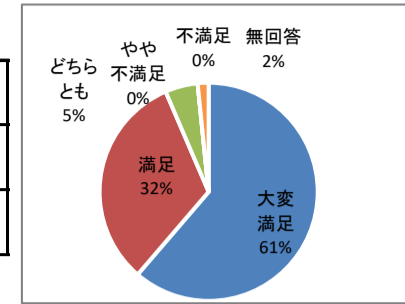
	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	39	23	0	0	0	0	62
%	63%	37%	0%	0%	0%	0%	100%



理由	評価	性	職業	回答No.
がんと免疫の関係性に関心があり、学ぶところが多かったからです。	大変満足	女	学部生	1
大変興味深い内容でした。	大変満足	女	学部生	3
肺がんという身近ながんについてのお話で興味深かったです。	大変満足	女	学部生	5
これからのがん治療についてとても興味があり、今までとは違う治療法、新たな希望が出ていることが分かって、これから研究するにあたってより深い研究ができそうになったからです。	大変満足	女	学部生	11
おもしろかったです。	満足	女	学部生	18
現在、現場でどのような治療が行われているか、薬の開発の経緯からお話を聞くことができ良かったです。	大変満足	女	学部生	22
肺がん治療の現状と問題点が簡潔に示されておりわかりやすくおもしろかった。	満足	男	学部生	27
内容が分かりやすく、何が臨床で問題なのかが明確であった。	大変満足	男	大学職員	33
オプジーボ等の薬のお話がきけて、とても良い経験になりました。	大変満足	女	学部生	34
講師の方の話が興味深かった。	満足	男	学部生	35
これからガン研究を行う身として興味深い内容だったから。	大変満足	女	学部生	36
1つ1つ丁寧な説明でわかりやすかった。	大変満足	女	学部生	37
大変分かりやすく、興味深い内容であると思いました。	大変満足	男	大学職員	38
内容が分かりやすかった。	満足	女	学部生	39
具体的な内容を組みながら説明していただいたこと。	満足	女	学部生	40
とても分かりやすく教えて頂けたので、とても良かったです。	大変満足	男	学部生	50
実際の現場での話も聞けてよかったです。レジュメの流れが分かりやすかったです。	大変満足	女	大学院生	52
話題となっているオプジーボを、同類薬のキイトルーダについて製薬会社の狙いも含めて聞いていて非常に面白かったです。	大変満足	男	学部生	57
PD-L1は聞いたことがあり、詳しく知れて良かった。	満足	男	学部生	58
勉強になりました。	大変満足	女	大学職員	59
話題のオプジーボについて知ることでよかったです。	満足	男	学部生	62

②プログラムの構成はいかがでしたか。

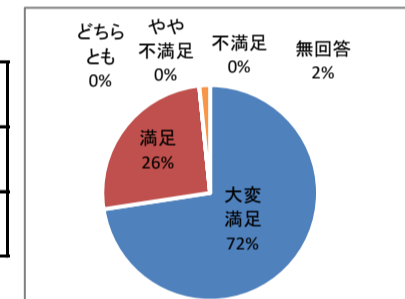
	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	38	20	3	0	0	1	62
%	61%	32%	5%	0%	0%	2%	100%



理由	評価	性	職業	回答No.
時間がギリギリというわかでも、余りすぎているわけでもなく、とてもスムーズに進むようになっていてよかったです。	大変満足	女	学部生	11
1つの講演に集中できたから。	満足	女	学部生	18
ちょうど良い時間配分だった。	満足	男	学部生	27
時間もちょうど良く、満足。	大変満足	男	大学職員	33
大変理解しやすい流れだった。	満足	男	学部生	35
とてもわかりやすく、理解できた。	大変満足	女	学部生	37
医師の観点と薬剤師の観点の両方からの意見が聞けるようなセッションでも良いかもしれません。	大変満足	男	大学職員	38
分子標的と免疫での分け方が非常にメリハリがあり分かり易かったです。	大変満足	男	学部生	57

4.講師・演者はいかがでしたか。

	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	45	16	0	0	0	1	62
%	73%	26%	0%	0%	0%	2%	100%

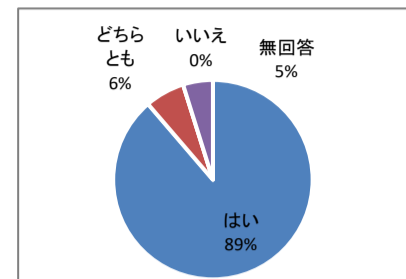


理由	評価	性	職業	回答No.
説明がとても丁寧で分かりやすかったです。	大変満足	女	学部生	1
説明が非常に理解しやすかった。また今の課題などもあり興味を持った。	大変満足	男	学部生	2
とてもわかりやすかったです。	大変満足	女	学部生	3
非常にわかりやすい話でした。臨床と基礎をつなげる内容、クリニカルクエスト等興味深かったです。	大変満足	男	大学職員	4
わかりやすい言葉で説明してくださり、学部生の私でも聞きやすかったです。	大変満足	女	学部生	5
話し方を始め、スライドなどもよくて、わかりやすかったです。知識の少ない私でも分かるような丁寧な説明でとてもよかったです。	大変満足	女	学部生	11
あまり専門知識がなくても理解できたから。	満足	女	学部生	18
具体的な症例もあり、分かりやすかったです。臨床検体を基礎研究と臨床で積極的に協力ができればもっと研究が進んで色々なことが明らかになるのかなと思いました。	大変満足	女	学部生	22
内容が分かりやすく、問題点が明確だった。	大変満足	男	大学職員	33
ただ研究の中身ばかりみていたが、臨床にももう少し目をむけたいと思った。	大変満足	男	学部生	35
自分にとっては難しい内容であったが、それでも分かりやすく伝えようとしてくれたから。	大変満足	女	学部生	36
背景を詳しく知らないのに何が問題なのか正確に理解できたから。	大変満足	男	学部生	54
PD-1抗体の現状について、自身の臨床体験に基づいて話されており、とても理解が深まりました。	大変満足	男	学部生	57
スライド、説明がとても理解しやすかった。	満足	男	学部生	58
分かりやすく問題点が理解できた。	大変満足	女	大学職員	59
TRの重要性が理解でき、大変参考になりました。	大変満足	男	大学職員	60
話し方が穏やかでわかりやすかった。	満足	男	学部生	62

## 5.その他

①このようなセミナーがあれば、また受講したいですか。

	はい	どちらとも	いいえ	無回答	計
人数	55	4	0	3	62
%	89%	6%	0%	5%	100%



②他に「がんに関する内容」で聴講してみたい内容がありましたらご記入ください。

聴講してみたい内容	次回受講希望	性	職業	回答No.
がんに対する免疫療法	はい	女	学部生	1
膵臓がんについて	はい	女	学部生	11
ビッグデータと基礎研究がからんだ内容	はい	男	大学院生	26
小児がんに対する治療	はい	女	学部生	29
胆のうがん、膵臓がんという治療困難ながんについての新規治療法の確立について。	はい	女	学部生	37
分子標的治療薬のTDM(薬剤師側の観点)	はい	男	大学職員	38
胆管がん、膵がんなど予後が悪いもの。	はい	女	大学院生	44
膵がんの治療について今後の課題等をおききたいです。	はい	男	学部生	48
酵素を標的とした抗がん剤についての講演があればぜひ参加したいです。	はい	男	学部生	57
乳がんの現状と薬物療法を聴講してみたい。	はい	男	学部生	58
大腸がん	はい	男	大学職員	60

③本セミナーを聴講されてお気づきの点がありましたら、自由にご記入ください。

お気づきの点	次回受講希望	性	職業	回答No.
非常に面白く拝聴させていただきました、	はい	男	大学職員	41
実務実習中でも参加し易いように一期、二期、三期の合間での開催をして頂きたいです。また、資料だけでも頂けるようにして頂ければありがたいです。	はい	男	学部生	57